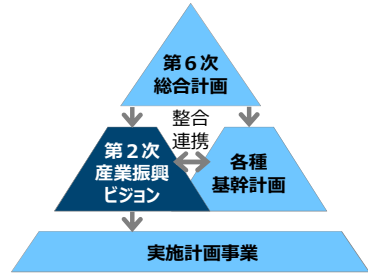


産業振興ビジョンの位置づけ・期間

第2次産業振興ビジョンは、第6次総合計画を産業・雇用の側面から推進するための基幹計画として位置づけられます。
総合計画と整合をとるため、計画期間は令和8年度から令和17年度までの10年間としています。

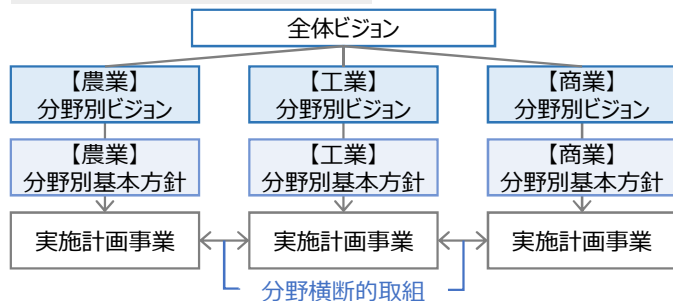
産業振興ビジョンの位置づけ



産業振興ビジョンの構成

本ビジョンは、市の産業全体に対する望ましい姿を全体ビジョンとし、それに基づいて分野別ビジョンを導き、それらに沿った基本方針を定めます。そして定めた方針に沿って具体的な施策や取組を検討し、実施計画事業として実施します。
なお、分野別ビジョンの設定にあたっては、市内の事業者に対し必要とされる基本方針及び施策を定めるため、各分野における事業者の経営方針や抱えている課題をアンケートやインタビューで把握し、それらを重視しました。

産業振興ビジョンの全体構成



全体ビジョン

白井市第2次産業振興ビジョンにおける全体ビジョンを“**続ける力と挑む意志で未来を拓く魅力ある産業都市しろい**”と定めます。本ビジョンは、第6次総合計画に掲げる将来像である「**世代を超えた笑顔と豊かさを未来へつなぐまち**」を産業側面から実現し、地域産業の持続可能な発展を図るための指針です。

策定にあたっては、既存の産業の担い手に対する調査から導出した趨勢と、市内外の産業構造や経済環境の変化、今後の成長機会などの分析結果から導出したありたい姿の両側面から検討しました。

地域経済を支えてきた既存産業や事業者の「続ける力」と、変化する社会・経済環境の中で新たな挑戦に取り組む事業者や市民の「挑む意志」の双方を市として後押しすることで、未来志向の産業都市を築くことを目指します。

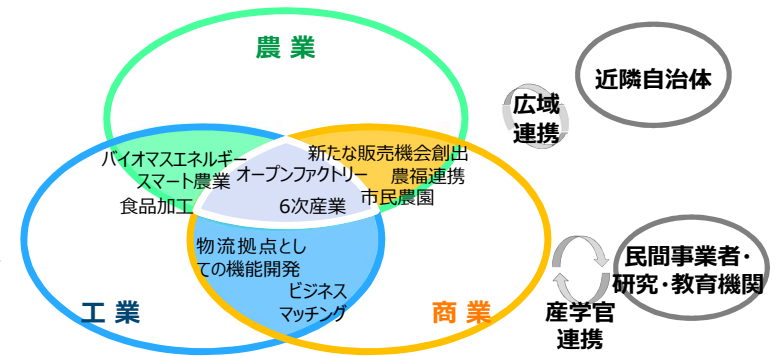
分野横断的な連携

本ビジョンでは全体ビジョンを各産業分野から実現するために「農業」「工業」「商業」の3つの分野で分野別ビジョンと基本方針を設定しました。

しかし、現実には各分野は相互に関係しながら本市の経済を支えています。そこで、各分野における取組を推進するに留まらず、分野間の共創及びエリアや立場を跨いだ取組を促進することで、相乗効果を創出しながらビジョンを実現することを目指します。

そして、新たに分野横断的な取組を創出するために、民間事業者や研究機関の①**連携を促進するテーマづくり**と、そして生まれた②**取組を実践する場づくり**、③**分野横断的な取組の担い手となる事業主体の誘致**を推進します。

分野横断的な連携イメージ



① 連携を促進するテーマづくり

地域の課題やありたい姿を連携のテーマとして設定し、テーマに基づく取組を補助事業等で後押しすることで、協働の動機付けを行います。

② 取組を実践する場づくり

従来型の行政主導の取組に加えて、地区まちづくり協議会や民間事業者と協働してエリアごとの発展を図るアプローチを推進していきます。

③ 分野横断的な取組の担い手となる事業主体の誘致

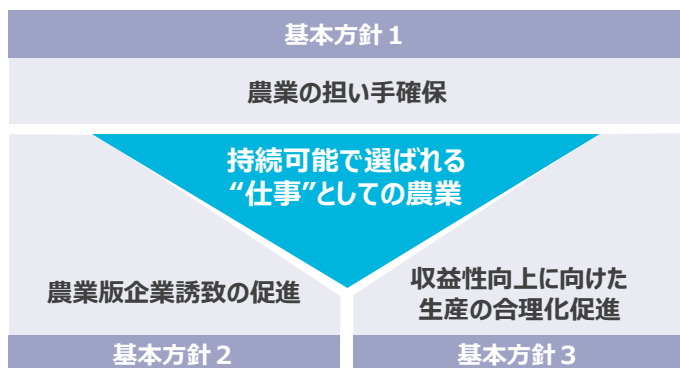
これまでの誘致実績を通じて得られた知見を活かして、新たな事業主体の誘致を強化します。

【概要版】白井市 第2次産業振興ビジョン 2/2

農業ビジョンと基本方針

市内農業従事者の課題及び今後の市内農業を取り巻く環境の変化を踏まえて、「**持続可能で選ばれる“仕事”としての農業**」をビジョンとして定めました。

また、ビジョン実現に向けて、市内農業従事者の課題解決に資する3つの基本方針を設定し、それらに沿った施策を実施します。



施策の方向性

基本方針1 農業の担い手確保

- 親族外・近隣地域外の就農者とのマッチング強化。
- 農業との新たなかかわり方の確立・普及。

基本方針2 農業版企業誘致の促進

- 耕作放棄地や廃業予定の農地を集約し大規模な生産法人を誘致するための基盤を整備。

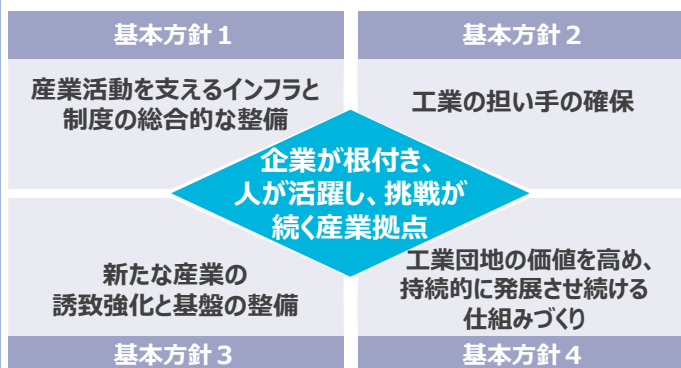
基本方針3 収益性向上に向けた生産の合理化促進

- スマート農業の推進。
- 害獣・害虫防除に対する意識・対応水準の底上げ。

工業ビジョンと基本方針

市内工業事業者の課題及び今後の市内工業を取り巻く環境の変化を踏まえて、「**企業が根付き、人が活躍し、挑戦が続く産業拠点**」をビジョンとして定めました。

また、ビジョン実現に向けて、市内工業事業者の課題解決に資する4つの基本方針を設定し、それらに沿った施策を実施します。



施策の方向性

基本方針1 産業活動を支えるインフラと制度の総合的な整備

- 白井工業団地における不十分なインフラ整備や事業運営上の課題となる様々な制度等の緩和・改定。

基本方針2 工業の担い手の確保

- 魅力開示の強化、通勤の利便性向上に向けた仕組みづくりを検討。
- 経営に関心のある人を可視化・交渉しやすい体制構築

基本方針3 新たな産業の誘致強化と基盤の整備

- ニーズの変化や地域の可能性を捉え、新たな産業の積極的な誘致やその受け皿となる産業用地の確保等に取組む。

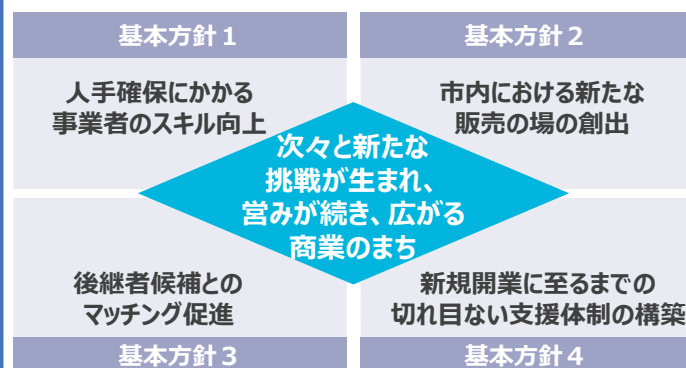
基本方針4 工業団地の価値を高め、持続的に発展させ続ける仕組みづくり

- 工業団地内の関係者との対話を重ねながら、必要な整備や支援策を着実に進める。

商業ビジョンと基本方針

市内商業事業者の課題及び今後の市内商業を取り巻く環境の変化を踏まえて、「**次々と新たな挑戦が生まれ、営みが続き、広がる商業のまち**」をビジョンとして定めました。

また、ビジョン実現に向けて、市内商業事業者の課題解決に資する4つの基本方針を設定し、それらに沿った施策を実施します。



施策の方向性

基本方針1 人手確保にかかる事業者のスキル向上

- 人材採用に対するリテラシー底上げを目指し、採用に関する市況観を普及。
- 人員を増強する方法及び相談先の周知。

基本方針2 市内における新たな販売場の創出

- 地域特性を生かした賑わいと交流の場をつくるための取組を推進。

基本方針3 後継者候補とのマッチング促進

- 将来的に経営を担う後継者候補や事業者とのマッチングを促進。

基本方針4 新規開業に至るまでの切れ目ない支援体制の構築

- 関係機関と連携した切れ目ない支援体制を構築。